| 五行歌の会 | きんきサロン通信９月号 | 発行:きんきサロン　代表・西村康則<br>編集長・小倉はじめ<br>No.049　2026.9.20 |
|---|---|---|

## きんきサロン西村新代表スタートしました！

きんきサロン代表を、すえつむ前代表から引き継いだ 2014 年 7 月七夕歌会でした。あれからもう 12 年が経過しました。当初は、歴史のある歌会の代表としてどうやればいいのか？悩んだものです。先輩諸氏からは、「会員の皆さんに、自分だったらこれができる」そういうものを実践しながら自分のスタイル構築をやっていく。気楽に考えたらとのアドバイスを貰いました。自分として誇れるのはフットワークの軽さかなと、自問自答し、これでやっていこうとの手探りスタートでした。とりあえずは、京都を含め近隣歌会へ顔を出す。これだったら自分でもできるとの自信がありました。やってみるとこれもなかなか大変でした。また 2000 年のコロナ禍、全国大会も文書化となるなど、対面歌会開催できない状況が発生しましたが、衛生管理をキチンとして、2020 年 7 月対面歌会も復活させることができました。このコロナ禍対策で WEB 利用のメール歌会も数回させていただきましたが、それもいいよね、と地域離れた歌人からの投稿もあって、対面歌会とは別個に 2021 年 10 月文書歌会きんきサロン版も立ち上げました。やってみると、対面歌会と文書歌会の並行開催の事務量は大変でした。文書歌会も今年で 5 年になりました。私も後期高齢者の仲間入りして並行開催の運営は無理かなとの感覚になってきています。

それと後継者発掘の取組です。「次の代表を誰にお願いするか…」の思いは常に私の頭の中に去来しておりました。『みやこ鳥 19 号』を発行した３年前には、この問題は私の中では焦眉の急となっておりました。コロナ禍があったとは言え代表を引き受けてから、すでに 10 年余の歳月が過ぎてしまっていたからです。早く誰かにバトンタッチせねばと焦っておりましたが、この度西村さんが引き受けてくれるとの合意に至り、2026 年８月をもってきんきサロンメンバーの同意、本部連絡も経て西村新代表に移行が決定となりました。新代表は、光琳閣時代から顔出ししてくれていて、仕事の関係で中断となっていましたが、2024 年、20 年ぶりに復帰してくれて、2024 年 10 月大阪での全国大会第一席獲得で、ご存じの方々も多いと思います。私よりも一回りも若く、大いに若返りとなります。大津市在住ですが、周辺の若い方々既にお誘いいただいており、歌会の若返りと活性化を目指してくれると思います。新代表の元で、きんきサロンの新時代の幕が開き、さらなる発展へつなげてくれることを願ってやみません。

今回の会場は京阪藤森駅近くの「京エコロジーセンター」でした。西村新代表への握手による代表移管のセレモニーも実施。

歌会１席は青藍氏、夏の暑さがまだ残る日々、時宜を得たスリラー歌、実話だそうです。２席はいぶやん氏、昨今の危ない中東情勢を風刺した時事歌。３席はほたるいかさだ氏、人と人の微妙な距離感をハリセンボンに例えられた。

(写真：前列左いぶやん･きったん･ニシタケ･西村･後列:平村･黒田･坂東･HIKARIKO･青藍･ほたるいかさだ)「撮影:小倉はじめ」　　（いぶ記）

この度代表のバトンを受けつぐことになりました西村康則です。光栄でもあり重く受け止めております。楽しい歌会、人と人との繋がりをモットーに頑張ります。皆様のご協力よろしくお願いいたします。　　（西村記）

## 第 330 回きんきサロン

1
朝の食卓
いちごから
スイカ
梨になったけど
まだまだ暑い
　　小倉はじめ　＊
2
ハリセンボン
お互いに近寄れば痛い
離れれば寒い
その距離感を
過ぎ去った日々に尋ねている
　　ほたるいかさだ　10 点 3 席

3
カーテンを閉め切り
エアコン全開の
穴倉生活
たった一つの窓からは
災害の映像が溢れて
　　坂東和代 8 点
4
空に大水の川日本
４０度を越える夏欧州
氷河土石流のヒマラヤ
でも神の怒りでなく
great net news
　　きったん　＊
5
地球はなんで
回ってるんですか
それはね
命を育てる為に
回ってるんだよ
　　ニシタケ 9 点
6
ひ孫からのお土産
日本一のたい焼き
アンとクリーム平らげて
「お腹の中で 2 匹およいでるわー」
と　苦しそうな母は 100 才越え
　　HIKARIKO　8 点
7
美容師の
小さな鋏は
うなじをチョキチョキと
軽ろやかに
風をうむ
　　黒田節子　8 点
8
小学生の息子が
青少年科学センターで
もらったヒヨコ
３ヶ月後の午前４時
コ、コ、コ、コケコッコウ
　　平村幸子　6 点
9
歯を
抜かれる日
二階の診療室への
階段は
十三段
　　青藍　14 点 1 席
10
砂漠の地下に眠る油田
植物由来だとのことだが
緑と花を
芽吹かせることなく
戦争を芽生えさせた
　　いぶやん　13 点 2 席
11
お見送りのホーム
じいじ　ばあばは
両手でバイバイ
片手でチョイバイ
中１男子
　　西村康則 5 点
＊印は４点以下、点数非開示

■参加者（11 名）・いぶやん・小倉はじめ・きったん・黒田節子・青藍・ニシタケ・西村康則・HIKARIKO・坂東和代・平村幸子・ほたるいかさだ・

■次月 10 月きんきサロン歌会
2026.10.4（日）13:00　ウイングス京都。

■編集長からの一言

　西村新体制への移行は、順次進めてまいります、この通信も、今号で 49 号となりました。何らかの情報発信媒体になればと思いでスタートしましたが、本誌の歌会報告＋アルファで、情報提供できたのかと思っております、次号は、おりしも 50 号となります。小倉編集長は、そこで卒業して、次期編集長いぶやんにバトンを渡したいと思います。「継続は力なり」です。最後の 50 号は、鹿児島「知覧」への旅行で、歌会不参加ですが、ネタもらって仕上げたいと思っています。
　上記写真は、西村さん紹介のニシタケさん(滋賀県日野町在住）本場の日野菜持参いただき、一席青藍さん、二席いぶやん、三席ほたるいかさださんに贈呈の写真です。
　ニシタケさん YouTube チャンネルも持たれていて「ニシタケ」です。覗いてみてください。　　（はじめ記）